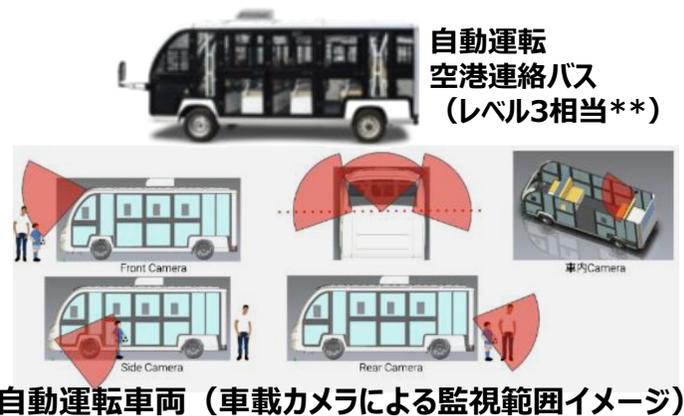


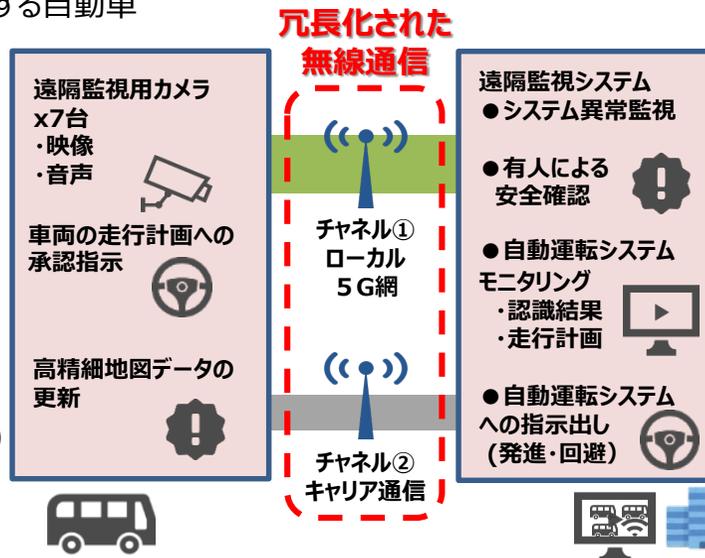
| | | | |
|-------------|---|----------------|--|
| 代表機関 | 東日本電信電話株式会社 | 分野 | 空港・港湾 |
| 実証地域 | 千葉県成田市 (成田国際空港) | コンソーシアム | 東日本電信電話(株)、成田国際空港(株)、KDDI(株)、(株)ティアフォー |
| 実証概要 | 航空業界（地上支援業務）においては少子高齢化等に伴い、 将来的なドライバ人材不足 が予想されるという課題が存在。 ➤ 空港ターミナル間にローカル 5 G 環境を構築し、ターミナル間連絡バスにおいて 遠隔監視による自動運転 （レベル4相当）に向けた実証を実施。（今年度はレベル3相当による実証） ➤ 空港等広大な敷地を有する産業においてモビリティ自動化による ドライバの人材不足解消・稼働率向上・就労環境改善 を実現。 | | |
| 技術実証 | ➤ 郊外地と開放地が混在する環境 での電波伝搬モデルの精緻化、空港特有の他の無線システムからの被干渉影響評価、複数基地局間ハンドオーバー時の通信品質評価等を実施。 ➤ 周波数：4.8-4.9GHz帯（100MHz） 構成：SA方式 利用環境：屋外 | | |

自動走行レベル4相当*実現に向けた無線通信システム品質の検証

*レベル4相当：ドライバ不要、遠隔監視のみで走行する自動車



**レベル3相当：同乗ドライバによる常時監視



遠隔監視イメージ